

帰国 J E T プログラム参加者歓迎レセプションの開催



平成27年3月6日、長嶋総領事公邸において、標題の歓迎レセプションを開催いたしました。

このレセプションには、2014年に日本からフロリダに戻ってきた J E T 参加者を中心に、元 J E T 参加者や大学関係者等42名が出席しました。

まず、長嶋総領事から、東日本大震災4周年を前に、震災で犠牲になった J E T 参加者2名（テイラー・アンダーソンさん、モントゴメリー・ディクソンさん）の生前の活動を紹介の上、J E T プログラム参加者が熱心に日本の教育に取り組んでいることを評価すると共に、彼らが多くの日本の子供達や地域の人達に愛されていることに触れました。来賓としてフロリダ州立大学のワット教授から、J E T の経験をした人にとって、ホームタウンは一つではないこと等を話していただきました。また、西岡面接委員からは、帰国者に対して、アメリカに戻ってから領事館や J E T A A と連絡を取りつづけることの大切さを述べていただきました。J E T A A 代表のサイモンズレーンさんからは、同会が日頃から行っている大小様々な活動について紹介がありました。その後、昨年帰国した J E T 参加者の3人（ソロンドさん、オルテガさん、フィチェラさん）が自らの日本での経験を話しました。

出席して頂いた元 J E T 参加者の中には、1989年に日本に赴いた人、また日本へ戻りたいとの思いを語ってくれた人などもおり、このプログラムを通じて日本の友人が着実に育っていることを大変心強く思っています。

※ J E T プログラムは、日本政府により1987年に創設され、日本に招聘した外国青年が、学校等で外国語を教えたり、各自治体における国際交流活動に携わったりすることにより、日本と諸外国との相互理解を増進するとともに、日本の国際化の促進に資することを目的とした事業。

※ J E T A A は、元 J E T 参加者の会

以上